



働き方改革① 『学校で教えること・家庭で教えること』とは？

本校の働き方改革の方針は以下の3点です。また、今年度は初めて数値目標も設定しました。

- ・教職員一人一人の心身のゆとりを大切にし教育活動を充実したものにする。
- ・働き方を見直し、授業準備等、子供のためにあてる。
- ・教職員としてワークライフバランスをとり、仕事とプライベートを共に充実させる。

平成15年頃までは「学校が忙しいのは当たり前。もっとしっかり教えてもらいたい。」という声があり、教師は何でもやってくれるのが当たり前と思われていました。その一方で「先生が言ったことは守りなさい。」といった家庭で学校の教育方針に沿って我が子を指導していた面もありました。

では、令和の教育で学校と家庭が教えな

R3・本校の働き方改革の目標	
1	「本校で働けてよかった」と回答する教職員92%以上(学校評価アンケート)
2	児童の下校時間を早める日の週2日設定(火:5時前、木:15時10分下校)
3	教職員の超過在校時間年平均の割合(45時間以下:50%、60時間以下:85%)

ればならないことは何なのかを私なりに書かせていただきます。

学校は「勉強」「集団生活の基礎」「学び方」「キャリア教育」等を教える必要があると考えます。特に、学級・学年等の集団生活にはルールやマナーがあります。小さな社会の中で学ぶことは、大人へのアプローチとして大切なことを学ぶ機会となると思います。

一方、家庭は「我が子・級友・先生等のよさを認めること」を教えることが大切になってくると思います。一人一台のPCが配られ、今後は外部とのやり取りなどを含め、個で学ぶ機会が増えてくることは必至です。しかし、周囲の人と教え合ったり、助け合ったりすることができなければ社会では通用しないことが多いです。友達や先生等の身近な人のよさを家庭で見つけ、認めることで、我が子にもそういった視点で周りの人を見て認められるようになることが必要だと思います。

新シリーズ③「ぼく・わたしのクラス紹介」6年2組 ○○学級

わたしたち6年2組は、どのクラスよりも元気いっぱい個性があふれているクラスです。わたしたちのクラスには声が大きい人、運動がよくできる人、気づかいができる人もいれば真面目な人やおもしろい人までいろいろな人がいて、いつも教室の中は笑顔であふれています。

6年2組になってから3か月ですが、たくさんエピソードがあります。まず、授業中に話が広がりすぎて、たまにうるさくなってしまうことがあります。わいわい授業をしているので楽しいです。4月に行われた1年生を迎える会では、みんなで協力して他の学年をまとめることができ、最高学年として進んで行動することができたと思います。また、陸上記録会では、みんなで「がんばれ!」とお互いに励まし合うことができました。最近、行った宿泊学習では足尾銅山に行ったときに、トロッコとトンネルにびっくりして泣いている人がいたけれど、みんなでなぐさめていました。普段の生活でも、分からないことがあるといろいろな人が教えてくれたり、助け合ったりしてわたしたちが決

めた級訓「みんなで助け合い だれかのために行動できる6年2組」のようなクラスになってきているかなと思います。

これから「やることはやり、楽しむことは楽しむ」「下級生のお手本になる」ことができるクラスを目指していきたいです。

そして、北浦小で過ごす最後の1年になるので、みんなでたくさんいい思い出をつくりたいと思います。(文:6年2組一同)

